

# 豚流行性下痢(PED)の対策徹底を!

本年10月に沖縄県で発生した豚流行性下痢(PED)は、その後、国内複数の県で発生が続いています。

【これまでの状況】

- ①10月：沖縄県 1農場      ③12月：鹿児島県 7農場（疑い事例）  
②11月：茨城県 2農場      宮崎県 1農場（疑い事例）

PEDは冬から春にかけて流行しやすいため、今後感染が拡大する恐れがあります。本病の予防には病原体の侵入防止が第一です。引き続き以下の防疫対策の徹底をお願いします。

【対策】

- ☆ 導入豚は隔離して健康状態を観察してから搬入する。
- ☆ PEDは糞便を介して感染するので豚の糞便が付着した物は農場内に持ち込まない。
- ☆ タイヤや荷台など車両消毒を徹底する（特に畜産関係車両が出入りする場所では念入りに）。
- ☆ 農場では専用衣服と履物を使用する。
- ☆ 出荷豚は健康観察してから出荷する。

☆ 家畜保健衛生所からのお願い ☆

異常な豚を見つけたら、直ちに担当獣医師又は家畜保健衛生所へ連絡をお願いします。  
又、県外から豚を導入される場合には事前に家畜保健衛生所へお知らせください。

## 【車両等消毒に係る消毒液の適正】

豚伝染性下痢ウイルスに効果のある消毒薬及び車両消毒への適正を以下のとおり整理した。

消毒薬の特性を踏まえ、適正な消毒薬を正しい濃度に希釈して用いること。

	炭酸ナトリウム <sup>※1</sup>	ヨウ素系	塩素系	アルデヒド系	複合	逆性石けん <sup>※2</sup>
1. 車体の洗浄	○	× (腐食)	× (腐食)	○	× (腐食)	○
-----						
幌(おおい)	○	× (着色)	○	○	○	○
2. タイヤ	○	○	○	○	○	○
-----						
タイヤハウス	○	× (腐食)	× (腐食)	○	× (腐食)	○
3. エンジンルーム	○	× (腐食)	× (腐食)	○	× (腐食)	○
4. コックピット						
フロアーマット	○	○	○	○	○	○
-----						
ペダル類	○	× (腐食)	× (腐食)	○	× (腐食)	○
-----						
その他 (金属を除く。)	× (析出)	× (着色)	○	○	○	○
-----						
その他(金属)	× (析出)	× (腐食)	× (腐食)	○	× (腐食)	○

※1 豚伝染性下痢ウイルスは低温下ではpH耐性を持つため、消毒に当たっては4%炭酸ナトリウム溶液を用い、消毒液の濃度を維持すること。

※2 表中太枠内の消毒薬は豚伝染性下痢ウイルス及び口蹄疫ウイルスに効果のある消毒薬であり、太枠外の逆性石けんは口蹄疫の消毒には不適である。